

1 単元名

災害と人権

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

- ① 災害時の多くの課題を理解し、災害が起きた時に、自分や周りの人の命を守るため、自分ができることを考えることができる。
- ② 学校だけでなく、地域に生きる自分としての視点をもち、困難な場面でもなにかと協働して行動できる力を身につける。
- ③ 人権尊重を基盤に多様な人と共に生きることが、日常生活における自分自身のよりよい生き方につながることを知る。

3 単元構成

1時「地震と自助について」、2時「自分と家族の命を守るためのわが家の防災計画を作ろう」、3時「家について通じる避難所にするため、自分の探究テーマを決めよう」、4時「探究学習」、5時「報告会」、6時「まとめ」、7時「ドリームミーティング」。

4 本時の学習指導

(1) 目標

- ・災害時や避難所生活における様々な課題を解決するために大切な考え方を見いだすことができる。
- ・災害時や避難所においても人権尊重の視点をもち、普段の自分の生活や生き方を見つめ直し、これからの「自分の生き方」を表現することができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	予想される子どもの反応	
1. 前時の振り返りと まとめ		・本時の活動で、生徒が考えをあげやすくするために前時の振り返りを行う。
2. めあての確認	人権の学習から、自分の生き方を考えよう	
3. 避難所の介での 課題に気づく ための行動を考える。		・いまだに自分の生き方について考えるのは 難しいため、学習した避難所での行動を もとに考える。
(1) テレスタミーティングを 使って考える。	・衛生環境をととのえる→そうじする ・クーラーの設置 ・ストレス解消→人トイサセしくする	・「テレスタミーティング」をするときルールを 確認しておく。
(2) 共有する		・なるほどと思ふ、本考えにしろしをつける に指示を出す。
(3) 考えを通知し、自分か できる項目に「☆」をつける		・多様な意見から考えを深められるように するために共有する。
(4) 「☆」の項目について、 学校生活に落とし込み 具体を考える	・人トイサセしくする→感謝の言葉 →笑顔	・すべての人が幸せになるためにと 着目するため、机間巡視で、「とく り人が避難するの」を問いかける
4. 宣言を考える	「今日から私は ... します。」	・意見が出ていない項目に、パンを 持て、補助や助言をする
→ 避難所生活での 「自分ができること」をまとめる		